

すてきな大分を見つけ、伝えよう！

一般社団法人すてきな大分を伝える会

2025.2.3

1月26日講話会 報告

プロゴルファー鈴木規夫氏

『私のゴルフ人生』　－勝負強さは如何に身に着けたか－

皆様こんにちは。新年を迎え早1か月が過ぎました。お元気でお過ごしでしょうか。去る1月26日の講話会は、プロゴルファーの鈴木規夫様をお迎え致しました。



鈴木プロは、1972年、21歳の時にプロテストに合格され、翌年の「美津濃プロ新人ゴルフ大会」を初優勝で飾りました。また1974年からの「九州オープン」では5連覇を成し遂げ、『九州の若鷹』の異名を取りました。国内ツアーでは通算20勝を記録し、中でも4度経験したプレーオフでは全勝する勝負強さを見せたのでした。鈴木プロを長年追って来たスポーツニッポンは、2023年7月6日の号外で、プロ生活50周年を祝し「困難に挑み、強敵を倒す勝ちっぷりはゴルフファンにとって胸のすくものだった」と高い賛辞を贈っています。

この度、鈴木規夫プロは、ご自身の50年余りのプロゴルフ生活を振り返られ、数々の厳しい激戦の中から掴まれた勝負の鉄則、教訓を披露くださいました。今回は、その要旨をご報告致します。

1. 大分は魅力がいっぱいです！

私（鈴木規夫氏）は、別府を本拠地にして全国各地のゴルフトークに参加してきました。その都度各地の景観などを見てきましたが、大分がやはり最高だと感じます。大分空港から別府まで帰る途中に見る鶴見岳や由布岳、高崎山などの山並み更には別府湾を眺めて、心が癒されるものがあります。安心感があり、帰ってきたなという気持ちになります。内からみなぎるエネルギーを感じるのです。大分県は自然が美しく、それも四季折々に違い、それぞれに味わい深いものがあります。また宇佐神宮をはじめとする歴史・文化や福沢諭吉、双葉山等日本を代表する偉人が豊富です。このような大分の魅力を発信しよう、伝えようという皆さんの活動は、素晴らしいものがあります。



2. プロゴルファーを目指したきっかけ

私は、香川県坂出市の出身です。小学校の時は、近所の兄さん姉さんに連れられ片道10kmの山道を歩いて通いました。これが今思えば足腰の鍛錬になりました。近くにゴルフ場があり、当時遊ぶものがなかったので棒切れでゴルフの遊びをしていたら、ある人から中古のクラブを貰いそれで覚えていきました。ある時ゴルフ場の運転手控室でゴルフのTV中継と一緒に見ていたのですが、杉本英世等のプロ選手が、外国勢を相手に素晴らしいプレーをしていました。その時自分もいつかこのような世界でゴルフをやってみたいと思いました。

3. 3つの夢

15歳の頃でしたが、自分も将来プロゴルファーになりたいという夢が生まれ、私は3つの誓いを立てました。それは、①プロテストに合格する ②プロで優勝する ③日本代表に選ばれるという

ものです。これらは、今振り返り、全て達成しました。多くの人は私の性格を“心臓に毛が生えている”とその神経の図太さを指摘しますが、本当はビビリで臆病なのです。心は不安で不安でいっぱいです。それだからこそ、その不安を無くす為に、必死に練りに練った準備をしてきました。今日も、実は会場の下見をするためにここに1時間前にきました。

4. 夢実現(計画・Vision 達成)の鉄則

①その目的が公的か私的か 私的目標は、永遠性がなく、続かない。私(鈴木プロ)の場合、父や母を楽にしてあげようという気持ちがあった。いざという勝負処になったとき公的であると強い。揺るがない。気持ちが集中できる。 ②動機が私的か公的か ③方法 誰にも自分の得意と不得意があります。不得意の克服のためには学びが必要。これができると夢実現はできます。コースに入ると誰も助けてくれません。そのために猛練習、猛鍛錬をするのです。池や林の中等あらゆる場面を想定した訓練です。これにより強靭な精神をつくり、そこに強靭なる肉体が宿るのです。また、そこには強靭な技(技術)も伴い伝授されます。ここ一番という本番に“風が縦から吹いてくる”境地に入り込むことが出来るのです。私がこのような心境を掴めたのは、父母の信仰心が影響しているのかなと考えることがあります。④一人ではない 私には味方になってくれる家族、友人、応援者がいることを忘れないこと この4つがあれば、夢の実現が出来ます。

5. 鈴木規夫プロ 勝負の鉄則

- ①私が負けると考えるならば、私は負ける。
- ②もう駄目だと思つてしまえば、駄目になる。
- ③勝ちたいと思う反面、もしどこかで無理だと思うのであれば、負ける。
- ④ピンチとチャンス 失敗した時謙虚に受け止める。下りきるまで下がる。必ず反転する。
- ⑤感謝の心 父母よりいただいたこの強靭な体 この感謝心があれば、強靭な力が湧く
- ⑥絶対諦めない精神
- ⑦「やれる」「できる」と常に完結編でいくこと 曖昧な気持ちは、運がなくなる
- ⑧私は、常に最高を目指す。そのために何をするか緻密な計画を立てる。

その時、最悪のことも想定に入れる。そして、最善を尽くし準備する！

鈴木規夫プロは、以上の講話の後、持参された帽子と著書「ゴルフがぐんと楽しくなるスコアメイクの流儀」(日経新聞出版社)にサインを入れて希望者にプレゼントして下さいました。

また、会場には、「フジサンケイクラシック」(1976年)でプレーオフの激戦を制して勝ち獲られた優勝トロフィーを特別にお持ち下さり、皆様に披露下さいました。ご厚意に深く感謝申し上げます。(メモ 青井勝久)



フジサンケイクラシック

優勝杯 (1976年)



鈴木規夫先生を囲んで



帽子や著書を希望者に